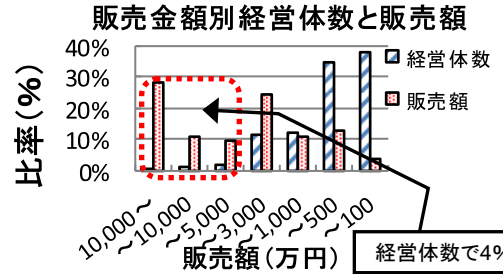


# 規模拡大による野菜・畜産の経営体の生産力強化

活動期間: 令和2年度

## ○ 取組の背景

- 管内販売額3,000万円以上は258経営体あり、管内6,421経営体の4%
- これら経営体で推計256億円の販売額があり、管内販売額の51%を占める



## ○ 課題と目標

- 【課題】
- 生産者の減少
  - 生産力の低下



経営発展に意欲ある経営体を重点支援  
(R2重点支援経営体 200経営体)

\* 花き、果樹、水田、茶を含む

【目標】 支援経営体の販売額増加 3億2千万円増/年

## 普及指導員の活動

### ○ 活動の事例1 「(株)アイファーム(ブロッコリー)」

【目標(令和3年度)】

販売額: 2.5億円、栽培面積: 100ha

#### 【普及指導員の伴走支援】

##### ① 安定供給体制確立に向けた支援

###### ア 集出荷貯蔵施設等の整備

- 補助事業の情報提供及び計画策定支援(H29~R1)  
集出荷貯蔵施設(R1、1棟698㎡)
- カット野菜生産施設整備に利用可能な補助事業の提案(R2~)

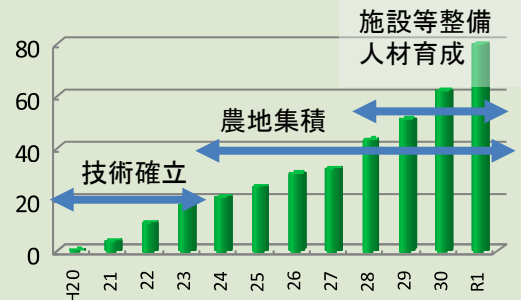
###### イ 農地確保に対する支援

- 農地中間管理事業、人・農地プランによる農地集積支援(H30~)

##### ② 生産体制の強化に向けた支援

- JGAP認証取得支援(H30~R1)  
JGAP認証取得(R1)
- 生産性向上のための5Sの導入支援(R1~)
- 幹部社員育成のための教育手法の習得支援(H29~30)

#### 栽培面積の推移(ha)



#### 【これまでの実績】

	H29	H30	R1	R2
販売額(億円)	1.7	2.2	2.5	3.0
栽培面積(ha)	42	57	67	96

従業員教育について専門家からの助言

○活動の事例2「河合畜産(株)(肉牛)」

【目標(令和5年度)】

販売額:3.2億円、肥育頭数:542頭

【普及指導員の伴走支援】

①競争力強化に向けた体制整備

- ・「みっかび牛」のブランド化支援(H30~R1)  
商標登録(H30)、食セレクション認定(R1)
- ・繁殖牛導入による経営改善支援(H30~)

②規模拡大のための施設の整備

- ・牛舎等の整備への助言、補助事業の情報提供(H29~30)  
肉牛舎 755㎡、堆肥舎 238㎡(H30補正)
- ・繁殖管理機導入への助言、利用可能な補助事業に関する情報提供(R1)
- ・肥育頭数増大のための繁殖管理技術向上支援(R2)
- ・産肉成績向上のための育種価手法導入の支援(R2~)

【これまでの実績】

	H29	H30	R1	R2
販売額(億円)	2.8	2.8	2.9	3.0
肥育頭数(頭)	391	391	429	530



← 発信器

ICT活用  
繁殖管理機

発情の兆候を表示



しずおか食セレクション認定

具体的な成果

○重点支援経営体に対する支援結果

(単位:億円)

(1) 販売額の推移

	H29	H30	R1
野菜	69	72	73
畜産	90	92	94
計	160	164	167

\* 野菜は78経営体、畜産は53経営体の販売額の合計

(2) その他伴走型支援の実績(平成30~令和元年度)

	新たな施設整備	法人化	新規雇用の開始
野菜	9戸	8戸	4戸
畜産	4戸	0戸	6戸



施設園芸大国事業により整備されたハウス